

富津市在宅医療・介護連携推進会議 会議録

1	会議の名称	令和2年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議
2	開催日時	令和2年7月10日（金） 19時00分～19時55分
3	開催場所	富津市役所5階 502・503会議室
4	審議等事項	（1）富津市在宅医療・介護連携推進会議会長及び副会長の互選について （2）在宅医療・介護連携のための現状把握について （3）令和2年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について
5	出席者名	（委員）三枝奈芳紀、竹内修、田中計、川口哲也、細井尚人、熊切篤、水町裕義、大島拓二郎、丸尚子、宮野京子、土屋礼江、鈴木智子、夏目剛志、牧達人、秋川裕康、有江直樹、和泉喜章、早川清子、古堀真由美、尾崎睦子、三枝裕文、藤野雅一、池田剛和 （事務局）坂本秀則、中村明美、飛澤賢宏、大語茉莉
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当（理由）
8	傍聴人数	0人（定員2人）
9	所管課	健康福祉部介護福祉課 高齢者支援係 電話 0439-80-1300
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

発言者	発言内容
事務局 (中村)	<p>定刻となりました。</p> <p>本日欠席される旨ご連絡をいただいている方を除き、お集まりいただいております。</p> <p>会議を始めます前に、委員の皆様にご挨拶申し上げます。</p> <p>1点目といたしまして、配付資料の確認をいたします。</p> <p>事前にお配りしたものは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● A4で印刷した「富津市の地域包括ケア会議デザイン」 ● A3で印刷した「委員所属団体での取組み一覧」 ● 在宅医療・介護連携に係る課題・取り組む施策のワークシート <p>です。</p> <p>本日、机の上にてお配りしたものは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 辞令 ● A4版の「当日配付資料：もくじ」というホチキス止め資料 ● A4で印刷した「富津市の高齢者・介護保険を巡る状況」 ● フレイル予防市民講演会のチラシ(案) <p>です。</p> <p>不足がございましたら、資料をお持ちしますので、挙手をお願いいたします。</p> <p>2点目といたしまして、令和2年4月から新しい委員として、皆様にご就任いただきました。よろしくお願い申し上げます。お時間の都合上、名簿及び辞令の配付を以て、委員紹</p>

	<p>介に代えさせていただきますので、ご了承願います。</p> <p>(開会)</p> <p>それでは、ただ今より、令和2年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>議事録作成のため、会議の内容を録音させていただいておりますので、ご了承くださるようお願い申し上げます。</p> <p>お手元の次第により、進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたり、健康福祉部長の坂本からごあいさつ申し上げます。</p>
坂本部長	<p>みなさんこんばんは。本年4月から、健康福祉部長を務めております、坂本と申します。</p> <p>1回目の「在宅医療・介護連携推進会議」の開催にあたりまして、ごあいさつを申し上げます。私は、平成29年に本会議を立ち上げさせていただいた際にも、携わっておりまして、2年振り担当となりますので、引き続き、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>委員の皆様には、気を休めることなく、新型コロナウイルス感染症予防を講じていただきつつ、市民のために必要な医療・介護のサービスを提供していただいていることについて、心から感謝を申し上げます。大変なご心労のなか、本会議のメンバーとして、また、本日はご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>富津市の高齢化率に関しましても、全国的に少子高齢化が進む中で、令和2年4月1日現在で37.62%であり、2025年(令和7年)には、38.9%になると推計しており、想定より、高齢化率が上がることが予想されるところであります。</p>

	<p>昨年度は、推進会議と2つのワーキンググループ会議におきまして、三枝先生と埼玉県立大学の川越教授を講師にお迎えし、「在宅医療と地域の支えあいのための講演会」を開催していただきました。また、本年10月に開催を予定しております「認知症メモリーウォーク」についても、ご提言をいただきました。</p> <p>本年度につきましては、令和3年度から5年度までの3年間の事業の展開の指針となります「第8期介護保険事業計画」を策定いたします。</p> <p>現段階の第7期計画の基本理念であります「高齢者が地域でいきいきと輝くまち」を目指していきいたいと考えておりますので、今後ご尽力・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症につきましては、本市では、医療機関や福祉事業所への支援と致しまして、十分な数量ではありませんが、マスクや飲料水の提供を、また、介護・障がい・保育などの施設運営事業者さんへ、感染症対策費用の一部として、最大で10万円の給付を市の独自施策と支援させていただいております。</p> <p>東京都を中心に感染拡大が続いている中で、今後必要に応じた支援をしてまいりたいと考えておりますので、引き続きの感染症予防と熱中症対策、そして、災害に備える対策にご尽力いただけますようお願い申し上げます、挨拶といたします。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局 (中村)</p>	<p>本日は、委員就任後初めての会議でございます。当日配付資料3頁をお開きください。</p> <p>富津市在宅医療・介護連携推進会議第6条第1項に「会長が議長となる」と規定されていますが、会長、副会長が選任</p>

	<p>されるまでの間、坂本健康福祉部長が仮議長の職を務めさせていたただきたいと思いますが、ご承諾いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
事務局 (中村)	<p>それでは、会長、副会長が選任されるまでの間、坂本が仮議長を務めます。</p>
坂本部長	<p>仮議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>議題第1号「富津市在宅医療・介護連携推進会議会長及び副会長の選出について」を議題とします。</p> <p>事務局に説明を求めます。</p>
事務局 (飛澤)	<p>事務局の飛澤です。ご説明させていただきます。</p> <p>富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第5条第1項に、「連携推進会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」とありますので、会長及び副会長を委員の互選により当選人を決定していただきたいと思います。</p>
坂本部長	<p>互選の方法には、選挙と推せんがありますが、いかがいたしましょうか。</p>
三枝(裕) 委員	<p>会長、副会長共に、指名推薦の方法がよろしいのではないですか。</p>
坂本部長	<p>ただ今、会長、副会長共に指名推薦の方法が良いのでは意見がありました。いかがいたしましょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>

坂本部長	それでは、どなたか会長の推薦をお願いいたします。
藤野委員	三枝病院の三枝委員を推薦いたします。
坂本部長	他に推薦はございませんか。 ただ今、三枝委員を会長にとの意見がありました。 他に推薦もないようですので、三枝委員に会長をお願いすることについて皆さん、ご承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし
坂本部長	ご異議もないようですので、会長には、三枝委員が当選されました。 続きまして、副会長の推薦をお願いします。
尾崎委員	有江委員を推薦いたします。
坂本部長	他に推薦はございませんか。 ただ今、有江委員を副会長にとの意見がありました。 他に推薦もないようですので、有江委員に副会長をお願いすることについて皆さん、ご承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし
坂本部長	ご異議はないようですので、副会長には、有江委員が当選されました。 それでは、会長、副会長が選出されましたので仮議長の任を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。
事務局 (中村)	当選されました、三枝会長、有江副会長には、恐れ入りますが、前の席へ移動していただき、ひと言ずつごあいさつを

	<p>お願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>皆さんこんばんは。会長をやらせていただきます、三枝でございます。よろしく申し上げます。先ほど坂本部長からのお話にもありましたように、高齢化がすごい勢いで進んでおり、様々な問題が起こってきていると思います。</p> <p>各団体でそれぞれの活躍をされていると思いますけれども、この会においてそれを一つにまとめ、いわゆるワンチームで取り組んでいけるように頑張りたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
<p>副会長</p>	<p>こんばんは。前回に続きまして副会長に選出されました有江と申します。本年度は、コロナウイルスでこれまでの違った動きがあります。その中で体調を崩されている方が多く、在宅医療に焦点を当てていかなければ厳しいという状態が続いております。2月9日のときに三枝先生と川越教授からご講演いただいた内容を活かして、三枝先生がおっしゃったようにワンチームで取り組んでいければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局 (中村)</p>	<p>ありがとうございます。それでは、会長、議事進行をお願いいたします。</p>
<p>三枝議長</p>	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず、私から、本日の会議の議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>早川委員を議事録署名人に指名しますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、会議次第に沿って、進めさせていただきます。</p> <p>議題第2号「在宅医療・介護連携のための現状把握について</p>

	<p>て」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
<p>事務局 (飛澤)</p>	<p>議案第2号「在宅医療・介護連携のための現状把握について」説明させていただきます。</p> <p>まずは、A4資料「富津市の地域包括ケア会議デザイン」をご覧ください。</p> <p>表紙をめくり、2頁をご覧ください。富津市の人口、医療・介護資源の現状の数値を示しております。</p> <p>3頁から7頁は、第7期介護保険事業計画の内容を標記したものです。</p> <p>8頁をご覧ください。こちらは、介護福祉課が行っている会議等の関連を図示したもので、本会議は右側に標記しています。会議でいただいた提言は、課内や関係部署で取りまとめて次期介護保険事業計画に盛り込んだり、市民の方へ周知活動を行ったりします。また、個別のケアマネジメントにおいて、医療課題のある高齢者を把握し、地域相談サポート医や認知症初期集支援チームにつなぐ、といったケース対応もございます。</p> <p>9頁をご覧ください。本会議の目的は2つです。ひとつ目は、住み慣れた地域で安心して医療と介護を受けることができるよう、関係者等の連携を深めること、二つ目は、在宅医療・介護連携における課題解決のための対応を検討することです。</p> <p>12頁をご覧ください。こちらは、本事業のPDCAサイクルです。</p> <p>13頁をご覧ください。こちらは、令和元年度までに行った施策の実績です。昨年度は、下から3番目の在宅医療と地域の支えあいのための講演会について、本会議の三枝先生と埼玉県立大学の川越教授を講師に迎え、関係者の皆さまのご協</p>

力を得て開催いたしました。また、下から 2 番目ですが、今年 4 月から君津四市において「医療・介護多職種連携エチケット集」を作成しました。ケアマネジャーさんや医療関係者の皆さまにはひと手間かけてしまいますが、是非ご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

15 頁をご覧ください。これは、県が配付した 2017 年と 2018 年の 10 月ひと月分の国保データベース（通称 K D B データ）を取りまとめたものです。国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入している富津市民が、どの自治体にある医療機関でどんなサービスを受けたのかを示しています。社会保険の加入者は反映されておりません。

たとえば、2017 年の往診の人数を見ると、富津市の医療機関で 56.8%、君津市で 27.0%を提供しているという構成になっております。

資料が多いため、これ以降は概要のみ説明させていただきます。

16 頁をご覧ください。看取り加算を見ると、数名であるものの市内の医療機関が看取っていただいていることが分かります。一方で、退院支援加算については 8 割近くを木更津市の医療機関が提供しており、本市の実績はございません。

17 頁をご覧ください。歯科訪問診療についてですが、2018 年は、富津市の医院が約 7 割をご提供いただいております。

18 頁をご覧ください。これ以降は、介護サービスの K D B データです。2017 年の表を参考に、読み取れることを説明いたします。訪問介護は、富津市で約 5 割、君津市で約 4 割を提供いただいております。訪問リハは富津市の事業所が約 9 割、訪問看護は約 5 割をご提供いただいております。

通所介護や通所リハ、居宅介護支援については、8 割弱から約 9 割を市内の介護機関から提供いただいております。

居宅療養管理指導については、富津市の薬局等から 6 割強、君津市から 2 割弱のサービスを提供いただいております。

続きまして、A 3 資料をご覧ください。ページが上下に重複して標記されている部分は、下にあるページ数をご参照いただければと思います。10 頁をご覧ください。

こちらは、第 8 期事業計画におけるニーズ調査のうち、在宅医療や地域の支えあいに関連すると思われる項目の一部を抜粋したものです。65 歳以上の市民、居宅サービスを利用している市民などを対象に質問票を郵送し、埼玉県立大学に取りまとめていただきました。同じ設問について回答者の比較できるように、併記しております。また、表の上に「45P」などと標記してあるものについては、こちらの集計した冊子のページとリンクしています。

資料の訂正がございますので、15 頁をご覧ください。65 歳以上の市民における男性の主観的幸福度のグラフが誤っております。見づらいうえに間違いがあり、申し訳ございません。正しいグラフでは、「現在どの程度幸せですか」との質問に対し、5 点をつけた男性総数が 23.9%、8 点が 19.1% という順に高くなっております。

これ以降も、読み取れることのみ簡単にご説明します。

17 頁をご覧ください。現在治療中の病気等があるかという設問があります。65 歳以上の男性市民は、高血圧が 48%、目の病気が約 17%、糖尿病が約 16%の順に高くなっております。女性の場合は、高血圧に次いで、筋骨格や認知症の割合も高くなっております。

30 頁をご覧ください。40～64 歳の市民については、一番上の病気がないという方が男女の総数とも約 30%で一番多く、次いで 2 段目の高血圧や 6 段目の高脂血症が高くなっております。施設サービス利用者は、介護度が高くなるほど認知症

を罹患する割合が高くなっております。

31 頁をご覧ください。身近に相談できる医師等がいるかという設問に対し、介護予防事業利用者は、一部を除き、70～80%がいると回答しています。一方、40～64 歳未満の方の合計を見ると、相談できる医療職がいると回答した割合は、約 47%～最高でも約 70%となっております。

18 頁をご覧ください。「身近に相談できる医師、歯科医師、薬剤師がいますか」という質問については、65 歳以上の市民は男女とも身近に相談できる医師、歯科医師がいると回答した合計が約 70%前後です。これに対し、薬剤師は約 50～60%となっております。一方、居宅サービス利用者の回答では、薬剤師の割合が高くなっております。

19 頁をご覧ください。認知症に関する相談窓口を知っているかとの質問については、65 歳以上の市民やサービス利用者、未利用者の男女とも、約 60～70%が窓口を知らないと回答しています。

20 頁をご覧ください。介護保険外で整備してほしいサービスとしては、どの調査対象者においても、通院への送迎や介護タクシーの割合が約 20%前後で高くなっております。

36 頁をご覧ください。健康スコアリングとは、国保、後期、介護の被保険者を対象として、地域毎の健診、医療、介護の状況を一元的にまとめたものです。また、富津市と同規模の市町村ともデータを比較できるよう、見える化しています。本ページは、国民健康保険加入者の医療のデータです。

たとえば、外来の医療費の分析を見ると、腎不全や糖尿病の割合が高くなっており、生活習慣病の悪化、予防を防ぐ施策が大事になってくるかと思えます。

続きまして、本日配付した A 4 の「富津市の高齢者・介護保険を巡る状況」をご覧ください。

こちらは、第 8 期介護保険事業計画の作成を委託している埼玉県立大学にて作成いただいた資料です。今月 27 日に庁内検討会議があり、その際に配付する資料を皆さまにもお配りいたしました。

スライド 3 頁をご覧ください。第 8 期で展望する 2040 年までの人口の推移です。人口は年々減少し、85 歳以上人口も 2035 年をピークに減少が予測されています。

スライド 4 頁をご覧ください。2040 年までの間に 15～64 歳人口が 8,119 人減少する一方、85 歳以上人口が 3,995 人増加する見込みです。

スライド 5 頁をご覧ください。全国平均と比べると、黒い■で標記された 15～64 歳人口の減少率が高く、白い○で標記された 85 歳以上の増加率は低くなる見込みです。

スライド 6 頁をご覧ください。県内の市町村と比べると、横軸である 15～64 歳人口の減少率が、高い方から 22 番目となっています。ちなみに、千葉県には 54 の市町村があります。

スライド 8 頁をご覧ください。65 歳以上の高齢者人口は、2020 年をピークに減少する見込みですが、64 歳以下の人口も減少することに伴い、高齢化率は 2040 年まで右肩上がりになると予測されています。

スライド 12 頁をご覧ください。2000 年と 2015 年を比べると、下から 2 番目の独居高齢者世帯数と高齢夫婦世帯数が 2 倍以上になっています。カッコ書きにあるとおり、高齢独居世帯等が、全世帯の約 12%を占めているという状況です。

スライド 16 頁をご覧ください。2015 年から 2020 年までの間で、要介護認定者は約 1.1 倍に増加しています。

スライド 19 頁をご覧ください。2015 年を基準に 2020 年と比較して認定者の伸び率を見ると、要支援 1 が 1.35 倍と最

も高く、次いで要支援 2 が 1.23 倍となっております。

スライド 21 頁をご覧ください。富津市の認定率は県平均を上回っており、全国平均にも近づいてきています。

スライド 22 頁をご覧ください。横軸にある要介護 2 以下の軽度の認定率は県内でほぼ真ん中ですが、縦軸にある要介護 3 以上の重度の認定率は、県内トップとなっております。よって、重度の人を対象とした医療・介護の施策が必要になってきます。

スライド 28 頁の上の表をご覧ください。こちらは、縦軸にある 2016 年時点の各認定者が、横軸にある 3 年後の 2019 年にどんな状態になっているのかを示しています。たとえば、2016 年に要支援 2 の認定者が 75 人おり、2019 年には要支援 1 に改善した方が 17 人いるという状況です。

スライド 34 頁の図表をご覧ください。65～69 歳の認知症出現率は 1.5% ですが、95 歳以上になると 38.3% の方に認知症が現れています。

スライド 38 頁をご覧ください。認知症の人数は 2040 年には 1,983 人と予測され、2020 年と比べると 1.1 倍の増加になっています。

スライド 43 頁をご覧ください。サービス受給者のうち、在宅サービスを受けている方の割合となる折れ線グラフを見ると、2015 年の 71.9% から 2020 年までほぼ横ばいで推移しています。

スライド 44 頁をご覧ください。認定者の療養場所について、要介護 2 までは在宅にいる方の割合が約 9 割となっています。一方、要介護 3 からは特養の利用者が 19.4% となり、割合が急増していることが分かります。

スライド 48 頁をご覧ください。第 1 号被保険者の 1 人あたり給付月額を見ると、横軸の字安宅サービスの割合は高い

	<p>方から 5 番目、施設・居住系サービスは高い方から 18 番目となっております。</p> <p>長々と説明しましたが、まとめますと、富津市では 2040 年に向けて人口減少傾向が続き、64 歳以下の人口も減る一方、85 歳以上の人口は増えていきます。そのため、いかに健康寿命を延ばすか、地域の中で高齢者の方々に活躍の場を持っていただくか、といった施策が必要になってくるかと思えます。また、現在の在宅での医療・介護サービスを維持・発展させていく施策も考える必要があるかもしれません。</p> <p>以上で、説明を終了します。</p>
三枝議長	説明は終わりました。質問はございませんか。
委員	質疑なし
三枝議長	<p>それでは、各委員からそれぞれの所属団体等で令和元年度及び今年度に取り組んでいる施策について、情報交換を始めます。A3 資料の 1・2 ページをお開きください。</p>
三枝議長	<p>まずは、医師会から説明いたします。</p> <p>富津市における医療と介護の連携の会につきましては、今年の 3 月 13 日に予定しておりましたが、コロナのため中止といたしました。令和 2 年度の取組み予定といたしましては、来年の初めには実施したいと思っております。</p> <p>君津医療圏域四市地域包括支援センター連絡協議会、君津木更津地区 4 市ケアマネジャー連絡協議会、在宅医療推進事業研修会について、私の手元には記録がなかったんですけれども、台風で中止とされていたかと思えます。今年度は、四市の医師会で検討していきます。</p> <p>医師会として特別にやっていることとして、相談支援事例</p>

	<p>検討会議というものを毎月の第3木曜日に開催しています。どういものかといいますと、各市の地域包括支援センターから挙げられた困難事例について、医療的な対応を検討するものです。もし、対応が困難な事例がございましたら、地域包括支援センターに連絡していただければ、医師会にも話が来ると思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>医師会としては、以上です。続きまして、認知症疾患医療センター細井先生をお願いします。</p>
細井委員	<p>袖ヶ浦さつき台病院の細井です。お願いします。</p> <p>私どもは、四市で各市1回ずつ医療と介護の多職種症例勉強会というものを開催させていただいております。平成30年、令和元年と市役所をお借りしてやらせていただきましたが、今年度に関してはコロナの感染予防のため開催できていません。</p> <p>元々は事例を通してグループワークをやるものですから、その形式をオンラインでどこまでできるかを今は模索中です。何とか今年度内に、富津市を会場とするかは分かりませんが、やらせていただいて皆さんにもご参加いただけるようにしたいと思います。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。続きまして歯科医師会、お願いします。</p>
熊切委員	<p>歯科医師会の熊切です。口腔ケアスキルアップ研修というのを県歯科医師会の主催で年3回実施しております。令和元年度は2回開催し、1回はコロナのため中止となっています。令和2年度は3回開催予定であります。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。続きまして薬剤師会、お願いします。</p>

	ます。
大島委員	<p>薬剤師会では、県の委託事業として、昨年度は介護職員を対象とした医薬品等に関する研修会と患者のためのサポート薬局の事業は実施しておりません。代わりに県事業とは別にサポート薬局としての事業はやっておりました。</p> <p>また、昨年度は要支援の方を対象に地域包括支援センターから問題提起された方を訪問して、今後どうするかということと一緒に考えました。</p> <p>あとは、在宅をやっている薬剤師が絶対的に少ないということで、そうした薬剤師を定着させるために、在宅をやっている施設に興味のある薬剤師を呼び、在宅訪問薬剤師の育成をしていくということを行いました。</p> <p>また、市民を対象としてお薬相談会を予定しておりますが、こういう状況なのでどうなるかは相談ということになります。</p> <p>あとは、要望があれば各薬剤師が高齢者対象のお薬教育を各地区でやっております。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。続きまして、訪問看護についてお願いします。</p>
土屋委員	<p>大佐和分院の土屋です。</p> <p>君津地域訪問看護つなぐ会ということで、私は4月からなので参加できていないんですけども、四市の訪問看護事業所が集まって、情報共有と連携を行っています。3か月毎の第2土曜日に実施しておりますが、3月と6月は実施できず、9月の第2土曜日に実施予定となっております。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。続きまして、リハビリ職団体に</p>

	<p>ついて、夏目委員お願いします。</p>
夏目委員	<p>PT・OT・ST 連絡協議会の夏目です。よろしくお願いします。</p> <p>君津地域リハビリテーション連絡協議会は、令和元年度は5月、12月と2回行われました。今年度は、11月中にできることなら予定しております。</p> <p>君津圏域公開フォーラムですけれども、令和元年度9月に第10回ということで、ほたるのセントラルクリニックの内田先生と君津中央病院理学療法士の笠原さんが講義を行いました。本年度については、7月中に実施するか否かを判断する予定です。</p> <p>地域リハビリテーション調整者養成研修会は、令和元年度はコロナの影響でメール上での情報交換となっており、今年度の予定は未定となっております。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。続きまして、三師会についてお願いします。</p>
事務局 (飛澤)	<p>三師会についてご説明いたします。令和元年度は、医師会、歯科医師会、薬剤師会にご協力いただきまして、開催しております。令和2年度の取組みは未定となっております。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。続きまして、訪問介護について秋川委員お願いします。</p>
秋川委員	<p>秋川です。よろしくお願いします。</p> <p>現在、富津市内における訪問介護の団体はない状況です。そのため、研修は各事業所で行っていること、外部研修を個人で受けに行くということ、事業所で何人か選抜して受けに</p>

	行くといった状況となっています。以上です。
三枝議長	ありがとうございました。続きまして、富津介護支援連絡協議会、富津市ケアマネジャー協議会について、有江委員お願いします。
有江委員	<p>富津介護支援連絡協議会については、先ほど三枝会長からもお話がありましたように、コロナの影響で中止となっております。令和2年度に実施するようであれば、協力体制をしいていきたいと思えます。</p> <p>富津市ケアマネジャー協議会については、令和元年は6月に社会福祉協議会の方に来ていただいて、成年後見制度について研修を行いました。第2回は、台風の影響で11月に実施予定だったのが2月にスライドしました。富津市の福祉の窓口課に講師を依頼し、虐待対応について学ばせていただきました。</p> <p>令和2年度については、今のところどういう形になるかは分かりませんが、11月と2月の2回、こうした研修会を実施できればと考えております。以上です。</p>
三枝議長	ありがとうございました。続きまして、老人保健施設から古堀委員、お願いします。
古堀委員	<p>介護老人保健施設わかくさの古堀です。お願いします。</p> <p>老健では地区ブロック会というのがありまして、在宅支援に向けての情報交換等を年2回から4回行っておりましたが、今年度はメール上でのみのやり取りとなっております。</p> <p>また、千葉県の老健協会から毎月1回程度、在宅支援のケアの質を上げるといった講習がある予定でしたけれども、それも今年度はすべて未定となっております。今後、開催する</p>

	<p>場合は、順次、各職種が参加する予定ですが、現段階では行われておりません。以上です。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。続きまして、地域包括支援センターから尾崎委員、お願いします。</p>
藤野委員	<p>尾崎委員は今年度就任なので、代わってご説明いたします。</p> <p>富津市の3包括としましては医師会第4部会、薬剤師会等と連携のための会議の場を持ち、在宅医療と福祉の推進のための在宅医療介護連携の相談窓口及び医薬品相談窓口や在宅患者の薬剤管理支援事業などについて、協働連携をしております。</p> <p>また、富津市介護福祉課を中心に認知症施策や在宅医療・介護連携について、ワーキンググループにて協議をしております。</p> <p>令和元年度におきましては、医師会第4部会との共同開催でありました研修会は、台風15号の影響で中止となっております。また本年度の開催については新型コロナウイルスを考慮し、リモートでの開催が提案され実現に向け協議がなされているところであります。</p> <p>天羽包括としましては、在宅医療介護連携の相談窓口において、三枝先生に3ケースほどご相談し、困難ケースを打開していくという実績もありません。先生、本年度もよろしくご説明いたします。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。続きまして、市の方からお願いします。</p>
事務局 (大語)	<p>事務局の大語と申します。</p> <p>昨年度、認知症施策ワーキンググループにおきまして、令</p>

	<p>和 2 年度に認知症メモリーウォークを開催することとなりました。本年度、認知症メモリーウォークの実行委員会を組織しまして、令和 2 年 5 月 19 日に、第 1 回認知症メモリーウォーク千葉 in 富津実行委員会を開催したところでございます。令和 2 年 10 月 11 日、日曜日の開催を目指しまして、9 月まで月 1 回、実行委員会議を開き、準備を進めてまいりたいと思いますので、皆さま引き続きご協力をお願いいたします。</p>
三枝議長	<p>ありがとうございました。説明は終わりました。ただいまの報告につきまして、質問はございませんか。</p>
委員	<p>質疑、意見なし</p>
三枝議長	<p>それでは、以上をもって、議題第 2 号を終了します。 続きまして、議題第 3 号「令和 2 年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
事務局 (飛澤)	<p>議案第 3 号「令和 2 年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について」説明いたします。 A 4 の「富津市の地域包括ケア会議デザイン」の 14 頁をご覧ください。 目指す理想像に向けて今年取り組むべきことは、明記した 3 点です。認知症メモリーウォーク以外は具体的な施策が定まっていないため、本日、皆さまからご意見を頂戴したく存じます。また、皆さまには 2 年の任期を定めさせていただいておりますので、今年度だけではなく、来年度も含めた 2 年間をめどに対応策を考えていただくことも可能と考えます。 また、部長から話があったとおり、今年度は令和 3 年から</p>

令和5年までの第8期介護保険事業計画の策定を控えております。次期介護保険事業計画の中で取り組むべき施策について、ご議論いただくこともありたく存じます。

A3資料の5頁をご覧ください。ここから9頁までは、昨年度までの会議で委員の皆さまから出していただいたご意見等を取りまとめたものです。この中から、まだ取り組んでいない課題をピックアップしていただくことも可能と存じます。

補足情報を2点、ご連絡いたします。

1点目ですが、A4版の本日配付資料6頁をお開きください。「令和2年度千葉県認知症地域医療支援事業における普及啓発推進事業について」です。1の募集内容をご覧ください。認知症サポート医の先生が講師として、認知症の医療に係る正しい知識の普及のための講演会や、認知症カフェでの講演や相談をした際、県の助成を受けることができます。もし、ご意見等がございましたら、本日または7月15日（水）までに事務局までご連絡ください。

2点目ですが、同じ資料の10頁をお開きください。「令和3年度地域医療介護総合確保基金に係る事業提案の募集について」です。3の「対象事業」をご覧ください。①～⑥の事業について、事業例が13頁以降の表に記載してあります。千葉県計画に盛り込まれる可能性がありますので、ご意見がございましたら、本日または7月22日（水）までに事務局までご連絡ください。

続きまして、同じ資料の1頁にある名簿をご覧ください。本会議には、「在宅医療・介護連携部門」と「認知症施策部門」という2種類のワーキンググループがございます。「部門」という列に、事務局がワーキンググループを明記しております。

要綱第7条第3項に、「ワーキンググループは会長が指名す

	<p>る委員をもって構成する」と規定されています。もし別のワーキンググループで活動したいという委員の方がいらっしゃいましたら、後ほど事務局までご連絡ください。</p> <p>この後、皆さまから意見をお出しいただき、意見の内容に応じて、どのワーキンググループで施策の検討をしていくかを決めていただきたく存じます。よろしくお願い申し上げます。</p>
三枝議長	<p>説明は終わりました。</p> <p>課題に関するご意見をいただく前に、要綱第7条第4項に、「ワーキンググループにグループ長及び副グループ長を置き、グループ員の互選によりこれを定める」とあります。</p> <p>どなたをワーキンググループ長として推薦するか、ご意見のある方はいらっしゃいましたら出していただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	意見なし
三枝議長	<p>ご意見がないようでしたら、初回のワーキンググループを開催した際に、グループ長及び副グループを決めていただければと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、検討すべき課題に関する質疑や意見はございますか。</p> <p>一覧表にはしていただいたのですが、膨大な量ですので、どれを優先に扱ってよいかなかなか難しいと思うんですけども…何かこれは、というものはございますか。</p>
池田委員	<p>富津市役所介護福祉課、課長の池田と申します。</p> <p>昨年度、205人参加されたということで、たいへん好評を得ました講演会の方を、今年度も実施していただいたらどう</p>

	かと思い、提案いたします。よろしくお願いいたします。
三枝議長	ありがとうございました。いかがでしょうか。他にございますか。
委員	意見なし
三枝議長	特にないようでしたら、ワーキンググループが始まってから決めるということでもよろしいでしょうか。
事務局	はい。
三枝議長	それでは、講演会を開催していただきたいという意見がございましたが、いかがでしょうか。特段、異議はございませんか。
委員	異議なし
委員	それでは、講演会はどちらのワーキンググループで取り上げていただくことにしますか。 前回は在宅の方だったので、今回は認知症の方でいかがでしょうか。
委員	異議なし
三枝議長	それでは、認知症のワーキンググループで何らかの講演会を開いていくということで、お願いしたいと思います。 在宅医療・介護連携については、この場ではテーマとして決められませんので、ワーキンググループの開催日時は決まっていますが、開催までに皆さん、この資料をよく読んで、これはというテーマをお一人様ひとつずつはお考えいただけ

	<p>ればと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>他に何かご意見等ございますでしょうか。</p>
委員	意見なし
三枝議長	<p>ご意見もないようですので、以上をもって、議題第3号を終了します。</p> <p>これを持ちまして、本日の議題は終了しました。</p> <p>委員の皆さんから「その他」で何かございますか。折角ですから、皆さんに何かお知らせしたいことでもございましたら、出していただければと思いますが…よろしいでしょうか。</p>
委員	意見なし
三枝議長	事務局から「その他」で何かありますか。
事務局 (飛澤)	<p>事務局から4点、ご連絡をいたします。</p> <p>1点目は、各施策検討のためのワーキンググループの開催についてです。後日、日程を調整し、グループ員に開催通知を送付させていただきます。また、本会義の第2回目の開催は、社会情勢を見ながら令和3年3月を予定しております。</p> <p>2点目ですが、事前にお配りした旅行距離等報告書や口座、マイナンバーに関する資料につきましては、机の上に伏せておいていただければと存じます。</p> <p>3点目ですが、株式会社ホープとの協働により、令和2年度版エンディングノートを作成しました。本日、会場にお持ちしていますので、必要な方はご自由にお持ち帰りください。</p> <p>なお、以前に記入のガイドブックを作った方が良いのではというご意見をいただきましたが、著作権が(株)ホープに帰属しており、画像や記入例の転用ができなくなっております。</p>

	<p>先方に照会したところ、別途費用をお支払いすれば可能となるそうです。ご要望が多ければ次年度の予算措置を検討しますので、事務局へご連絡ください。</p>
<p>事務局 (大語)</p>	<p>4点目ですが、フレイル予防啓発講演会についてです。</p> <p>本市では、一般介護予防事業として、富津市いきいき百歳体操の実施支援や、高齢者のための食生活教室等を実施してまいりました。今年度からは、市民主体のフレイル予防を進めていくために、東京大学高齢社会総合研究機構が開発いたしましたプログラムを活用したフレイル予防事業を実施していく予定です。</p> <p>そのキックオフとして、8月23日、日曜日なんですけれども、機構の飯島勝矢機構長をお迎えし、講演会を開催いたします。お手元にチラシの案をお配りしておりますので、ご覧いただければと思います。</p> <p>現在、君津木更津医師会様や君津木更津歯科医師会様などに後援を依頼させていただいております。今後、承認をいただけたら、広報やホームページにて講演の周知を行う予定となっておりますので、ご興味のある方は是非出席していただければと思います。よろしく願いいたします。以上です。</p>
<p>三枝議長</p>	<p>ありがとうございました。ちなみに、先日の医師会で講演の後援はさせていただくことに決まりました。</p> <p>ただいまの事務局からの説明について、ご質問はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>意見なし</p>
<p>三枝議長</p>	<p>よろしいでしょうか。それでは、以上をもちまして、令和</p>

	<p>2年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を終了いたします。</p>
--	--

お疲れさまでした。